

西暦 2019 年 10 月 8 日

これまでに可逆性脳血管攣縮症候群の診断を受けた患者さん・ご家族さまへ 【過去の検査データの調査研究への使用のお願い】

公立陶生病院神経内科では「可逆性脳血管攣縮症候群における arterial spin labeling の有用性の検討」という臨床研究を行っております。この研究は、MRI 検査の有用性を調べることを主な目的としています。そのため、過去に可逆性脳血管攣縮症候群の診断を受けた患者さんのカルテ情報や画像データを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

○この調査研究は公立陶生病院倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

研究期間：倫理委員会承認日 ～ 令和 2 年 3 月 1 日まで

対象調査期間：平成 31 年 1 月 1 日 ～ 平成 31 年 2 月 28 日まで

○今回の調査研究の対象はこれまでに可逆性脳血管攣縮症候群の診断を受けた患者さんのカルテ、MRI 画像です。

○過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

○使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。

○調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

○調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は公立陶生病院に帰属し、あなたには帰属しません。

○この調査研究は、科学研究費助成事業の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。

また、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

公立陶生病院 脳神経内科 職名 主任部長

研究責任者： 湯浅 浩之

TEL：0561-82-5101(代)